

【表紙】

【提出書類】 四半期報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第1項

【提出先】 東北財務局長

【提出日】 平成25年7月3日

【四半期会計期間】 第38期第1四半期(自 平成25年2月21日 至 平成25年5月20日)

【会社名】 株式会社ダイユーエイト

【英訳名】 DAIYU EIGHT CO.,LTD.

【代表者の役職氏名】 代表取締役社長 浅倉俊一

【本店の所在の場所】 福島県福島市太平寺字堰ノ上58番地

【電話番号】 024(545)2215(代表)

【事務連絡者氏名】 常務取締役管理統括部長 石黒隆

【最寄りの連絡場所】 福島県福島市太平寺字堰ノ上58番地

【電話番号】 024(545)2215(代表)

【事務連絡者氏名】 常務取締役管理統括部長 石黒隆

【縦覧に供する場所】 株式会社東京証券取引所
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

第一部 【企業情報】

第1 【企業の概況】

1 【主要な経営指標等の推移】

回次 会計期間	第37期 第1四半期 連結累計期間		第38期 第1四半期 連結累計期間		第37期	
	自 至	平成24年2月21日 平成24年5月20日	自 至	平成25年2月21日 平成25年5月20日	自 至	平成24年2月21日 平成25年2月20日
売上高 (千円)		9,785,281		10,001,306		39,935,791
経常利益 (千円)		405,034		265,292		1,280,726
四半期(当期)純利益 (千円)		226,588		176,831		676,853
四半期包括利益又は包括利益 (千円)		211,130		190,318		723,096
純資産額 (千円)		4,512,000		5,059,607		4,946,627
総資産額 (千円)		26,560,783		26,665,426		25,846,278
1株当たり四半期(当期) 純利益金額 (円)		33.51		22.86		90.30
潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益金額 (円)						
自己資本比率 (%)		16.9		18.9		19.1

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。
3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2 【事業の内容】

当第1四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)において営まれている事業内容について、重要な変更はありません。

また、主要な関係会社についても異動はありません。

第2 【事業の状況】

1 【事業等のリスク】

当第1四半期連結累計期間において、当四半期報告書に記載した事業の状況、経理の状況等に関する事項のうち、投資者の判断に重要な影響を及ぼす可能性のある事項の発生又は前事業年度の有価証券報告書に記載した「事業等のリスク」についての重要な変更はありません。

なお、重要事象等は存在していません。

2 【経営上の重要な契約等】

(連結子会社の合併)

当社は、平成25年4月2日に締結いたしました合併契約書に基づき、平成25年5月17日開催の定時株主総会の承認のもと、平成25年6月21日をもって、株式会社イトファームを吸収合併いたしました。詳細につきましては「第4 経理の状況 1 四半期連結財務諸表 注記事項(重要な後発事象)」をご参照下さい。

3 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

(1) 業績の状況

当第1四半期連結累計期間(平成25年2月21日～平成25年5月20日)におけるわが国の経済は、新政権による円高是正、金融緩和をはじめとした経済政策への期待感から、輸出関連企業を中心として企業収益改善の動きが見られ、株価についても回復の傾向が顕著であり、全体として景気回復の兆しが見られました。個人消費につきましても、春先の天候不順によって売上の不調はあったものの、高品質の商品を中心に回復の兆しが見られました。一方で、長引く欧州の財政不安、円安による原材料価格の上昇、電気料の値上げ等、国内景気の減速懸念もあることから、依然として国内景気の先行き不透明感を払拭しきれない状況が続いております。

このような状況のもと、当社グループは当第1四半期連結累計期間におきまして、新規出店として、ホームセンター「ダイユーエイト」は3月に岩手水沢店を開設し、当社グループとして初めて岩手県に進出いたしました。この結果、当第1四半期連結会計期間末の店舗数は、86店舗となりました。

これらの結果、当第1四半期連結累計期間における当社グループ(当社及び連結子会社)の連結売上高は100億1百万円(前年同期比2.2%増)、連結営業利益は2億7千5百万円(同34.6%減)、連結経常利益は2億6千5百万円(同34.5%減)、連結四半期純利益は1億7千6百万円(同21.9%減)となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

〔ホームセンター事業〕

ホームセンター事業は、営業休止店舗を除く既存店ベースで、客数が1.2%増加しましたが、客単価が前年同期比で2.9%減少したことから、既存店売上高は1.8%減少しました。

既存店ベースでの商品別販売動向につきましては、前年に比べ平均気温の上昇に伴い、用土・肥料・花苗・野菜苗といった園芸用品、植物の売れ行きが好調に推移しました。また転居等に伴うインテリア・エクステリア関連商品についても堅調に売上が推移しました。一方、春先の低温期の売上構成で大きな割合を占める灯油・ストーブ等の暖房関連用品の売上高は、気温の上昇を受けて前年対比で減少しました。また、前年は東日本大震災の発生に伴い被災3県(岩手県・宮城県・福島県)において地デジ放送への移行延期の影響で大きく売上高が伸長していた地デジチューナー・テレビ等の家電用品特需が一巡し、売上高は前年対比で減少しました。

一方、セグメント利益につきましては、新規出店に伴う人員増加による人件費の増加、及び販売広告費等の経費の増加により前年対比で減少しました。

これらの結果、ホームセンター事業における売上高は81億1百万円(前年同期比0.8%減)セグメント利益(営業利益)は5億2千3百万円(同14.4%減)となりました。

〔不動産事業〕

不動産事業における売上高は1億8千8百万円(前年同期比8.7%減)、セグメント利益(営業利益)は7千5百万円(同1.0%減)となりました。

なお、近隣型ショッピングセンター「エイトタウン」は、当第1四半期連結会計期間末において計5箇所であります。

〔その他〕

当事業における売上高は、「ペットワールドアミーゴ」を展開するペットショップ事業及び「One's cycle」を展開する自転車専門店事業等により21億4千2百万円(前年同期比22.0%増)、セグメント損失(営業損失)は5千万円(前年同期はセグメント損失4千万円)となりました。

(2) 財政状態の分析

(資産、負債及び純資産の状況)

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ8億1千9百万円増加し、266億6千5百万円となりました。この主な要因は、新規出店に伴うたな卸資産の増加等であります。

当第1四半期連結会計期間末の負債は、前連結会計年度末に比べ7億6百万円増加し、216億5百万円となりました。この主な要因は、支払手形及び買掛金の減少、短期借入金の減少、未払法人税等の減少、長期借入金の増加等によるものであります。

当第1四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末に比べ1億1千2百万円増加し、50億5千9百万円となりました。この主な要因は、利益剰余金の増加等によるものであります。

第3 【提出会社の状況】

1 【株式等の状況】

(1) 【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	15,000,000
計	15,000,000

【発行済株式】

種類	第1四半期会計期間 末現在発行数(株) (平成25年5月20日)	提出日現在 発行数(株) (平成25年7月3日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	7,734,000	7,734,000	東京証券取引所 (市場第一部)	単元株式数は100株であります。
計	7,734,000	7,734,000		

(2) 【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4) 【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
平成25年5月20日		7,734,000		1,303,173		1,224,682

(6) 【大株主の状況】

当四半期会計期間は第1四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(7) 【議決権の状況】

【発行済株式】

平成25年2月20日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式			
議決権制限株式(自己株式等)			
議決権制限株式(その他)			
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 100		権利内容に何ら限定のない当社における標準となる株式
完全議決権株式(その他)	普通株式 7,733,000	77,330	同上
単元未満株式	普通株式 900		同上
発行済株式総数	7,734,000		
総株主の議決権		77,330	

- (注) 1 当第1四半期会計期間末日現在の「発行済株式」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日(平成25年2月20日)に基づく株主名簿による記載をしております。
- 2 「完全議決権株式(その他)」の欄には、証券保管振替機構名義の名義失念株式が2,900株(議決権29個)含まれております。

【自己株式等】

平成25年2月20日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
(自己保有株式) 株式会社ダイユーエイト	福島県福島市太平寺字堰 ノ上58番地	100		100	0.0
計		100		100	0.0

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

第4 【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」(平成19年内閣府令第64号)に基づいて作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第1四半期連結会計期間(平成25年2月21日から平成25年5月20日まで)及び第1四半期連結累計期間(平成25年2月21日から平成25年5月20日まで)に係る四半期連結財務諸表について、新日本有限責任監査法人による四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】
(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年2月20日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年5月20日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,754,809	1,493,062
売掛金	264,803	384,352
たな卸資産	6,940,930	7,559,957
その他	615,518	578,516
流動資産合計	9,576,062	10,015,889
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	16,095,096	16,191,782
減価償却累計額	7,665,902	7,807,273
建物及び構築物（純額）	8,429,194	8,384,509
土地	1,926,347	1,926,347
リース資産	1,004,281	1,043,929
減価償却累計額	419,500	471,035
リース資産（純額）	584,780	572,893
その他	446,941	483,594
減価償却累計額	290,194	297,657
その他（純額）	156,746	185,936
有形固定資産合計	11,097,069	11,069,685
無形固定資産		
のれん	76,973	59,330
その他	1,251,521	1,260,314
無形固定資産合計	1,328,494	1,319,644
投資その他の資産		
敷金及び保証金	2,437,545	2,510,612
その他	1,426,095	1,768,583
貸倒引当金	18,990	18,990
投資その他の資産合計	3,844,650	4,260,206
固定資産合計	16,270,215	16,649,536
資産合計	25,846,278	26,665,426

	前連結会計年度 (平成25年2月20日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年5月20日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6,214,790	6,050,990
短期借入金	2,174,000	2,025,000
1年内返済予定の長期借入金	2,184,267	2,378,936
1年内償還予定の社債	110,000	110,000
リース債務	234,211	245,770
未払法人税等	337,126	166,080
その他	2,107,954	2,402,657
流動負債合計	13,362,349	13,379,435
固定負債		
社債	215,000	195,000
長期借入金	4,860,886	5,615,668
リース債務	456,552	442,124
退職給付引当金	215,610	222,140
役員退職慰労引当金	297,077	298,846
長期預り保証金	1,171,790	1,135,401
資産除去債務	149,949	151,418
その他	170,433	165,784
固定負債合計	7,537,300	8,226,383
負債合計	20,899,650	21,605,818
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,303,173	1,303,173
資本剰余金	1,224,682	1,224,682
利益剰余金	2,349,189	2,448,682
自己株式	74	74
株主資本合計	4,876,969	4,976,462
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	66,468	81,304
繰延ヘッジ損益	2,293	1,823
その他の包括利益累計額合計	64,175	79,481
少数株主持分	5,482	3,663
純資産合計	4,946,627	5,059,607
負債純資産合計	25,846,278	26,665,426

(2)【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】
【四半期連結損益計算書】
【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年2月21日 至平成24年5月20日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年2月21日 至平成25年5月20日)
売上高	9,785,281	10,001,306
売上原価	7,021,109	7,131,519
売上総利益	2,764,172	2,869,787
販売費及び一般管理費	2,342,300	2,594,177
営業利益	421,872	275,610
営業外収益		
受取利息	2,693	3,669
受取手数料	31,934	32,376
その他	17,623	25,165
営業外収益合計	52,252	61,211
営業外費用		
支払利息	45,645	37,673
その他	23,443	33,856
営業外費用合計	69,089	71,529
経常利益	405,034	265,292
特別利益		
受取損害賠償金	-	37,719
その他	-	450
特別利益合計	-	38,169
特別損失		
固定資産除却損	4,180	1,553
特別損失合計	4,180	1,553
税金等調整前四半期純利益	400,853	301,908
法人税、住民税及び事業税	153,003	155,838
法人税等調整額	22,401	28,942
法人税等合計	175,404	126,896
少数株主損益調整前四半期純利益	225,449	175,012
少数株主損失()	1,138	1,819
四半期純利益	226,588	176,831

【四半期連結包括利益計算書】
【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年2月21日 至平成24年5月20日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年2月21日 至平成25年5月20日)
少数株主損益調整前四半期純利益	225,449	175,012
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	14,493	14,836
繰延ヘッジ損益	174	469
その他の包括利益合計	14,318	15,306
四半期包括利益	211,130	190,318
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	212,269	192,137
少数株主に係る四半期包括利益	1,138	1,819

【会計方針の変更等】

当第1四半期連結累計期間 (自 平成25年2月21日 至 平成25年5月20日)
(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更) 当社及び連結子会社は、法人税法の改正に伴い、当第1四半期連結会計期間より、平成25年2月21日以降に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。 なお、この変更による当第1四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

【注記事項】

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成24年2月21日 至 平成24年5月20日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成25年2月21日 至 平成25年5月20日)
減価償却費	192,780千円	219,816千円
のれんの償却額	17,642 "	17,642 "

(株主資本等関係)

前第1四半期連結累計期間(自 平成24年2月21日 至 平成24年5月20日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成24年5月18日 定時株主総会	普通株式	70,773	11.00	平成24年2月20日	平成24年5月19日	利益剰余金

2. 基準日が当第1四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第1四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

3. 株主資本の著しい変動

当社は、平成24年4月26日を払込期日とする公募による新株式発行により、資本金及び資本準備金がそれぞれ361,272千円増加しております。また、平成24年5月16日を払込期日とする第三者割当による新株式発行により、資本金及び資本準備金がそれぞれ47,122千円増加しております。

これらの結果、当第1四半期連結累計期間において資本金が408,395千円、資本準備金が408,395千円増加し、当第1四半期連結会計期間末において資本金が1,303,173千円、資本準備金が1,224,682千円となっております。

当第1四半期連結累計期間(自 平成25年2月21日 至 平成25年5月20日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成25年5月17日 定時株主総会	普通株式	77,338	10.00	平成25年2月20日	平成25年5月20日	利益剰余金

2. 基準日が当第1四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第1四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自平成24年2月21日 至 平成24年5月20日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	ホームセンター 事業	不動産事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	8,167,357	189,338	8,356,696	1,428,585	9,785,281
セグメント間の内部売上高 又は振替高	248	17,220	17,468	326,464	343,932
計	8,167,605	206,558	8,374,164	1,755,050	10,129,214
セグメント利益	612,446	76,526	688,972	40,278	648,693

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ペットショップ事業、複合商業施設事業、オフィスサブライ事業、自転車専門店事業、リフォーム事業、ハーブ・花・苗事業、輸入卸売事業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	688,972
「その他」の区分の利益	40,278
セグメント間取引消去	13,052
全社費用(注)	239,874
四半期連結損益計算書の営業利益	421,872

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

前第2四半期連結会計期間において、従来、「その他」の区分に含めておりました「食品スーパー事業」を、「ホームセンター事業」及び「複合商業施設事業」の区分に変更しております。これは、平成24年6月21日付で「食品スーパー事業」を営む連結子会社であった株式会社エイトフーズを吸収合併したことによるものであります。

なお、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報は、前第2四半期連結会計期間及び当第1四半期連結会計期間におけるセグメント変更後の区分に基づき作成したものを開示しております。

当第1四半期連結累計期間(自平成25年2月21日 至 平成25年5月20日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	ホームセンター 事業	不動産事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	8,101,198	187,539	8,288,738	1,712,568	10,001,306
セグメント間の内部売上高 又は振替高	273	1,020	1,293	429,589	430,882
計	8,101,471	188,559	8,290,031	2,142,157	10,432,189
セグメント利益	523,956	75,755	599,712	50,856	548,855

(注)「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ペットショップ事業、複合商業施設事業、オフィスサプライ事業、自転車専門店事業、リフォーム事業、ハーブ・花・苗事業、輸入卸売事業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	599,712
「その他」の区分の利益	50,856
セグメント間取引消去	6,686
全社費用(注)	279,932
四半期連結損益計算書の営業利益	275,610

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

(1) 会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更に記載のとおり、法人税法の改正に伴い、当第1四半期連結会計期間より、平成25年2月21日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更したため、報告セグメントの減価償却の方法を改正後の法人税法に基づく方法に変更しております。

なお、この変更による当第1四半期連結累計期間のセグメント損益に与える影響は軽微であります。

(2) 当第1四半期連結会計期間より、従来、「ホームセンター事業」に含めておりました営業企画等に係る費用の一部を、全社費用に含めております。これは、新規事業の拡大の伴い営業企画活動が全社の共通基盤であるとの位置付けに基づき、営業企画活動に係る費用について内部報告の集計単位を本部費へ変更したことによるものであります。

なお、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報は、当第1四半期連結累計期間の報告セグメントの区分に基づき作成したものを開示しております。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年2月21日 至平成24年5月20日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年2月21日 至平成25年5月20日)
1株当たり四半期純利益金額	33円51銭	22円86銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額(千円)	226,588	176,831
普通株主に帰属しない金額(千円)		
普通株式に係る四半期純利益金額(千円)	226,588	176,831
普通株式の期中平均株式数(株)	6,761,677	7,733,883

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

当第1四半期連結累計期間 (自平成25年2月21日 至 平成25年5月20日)																						
(連結子会社の吸収合併)																						
<p>当社は、平成25年4月2日に締結いたしました合併契約書に基づき、平成25年5月17日開催の定時株主総会の承認のもと、平成25年6月21日をもって、株式会社エイトファームを吸収合併いたしました。</p>																						
1. 合併する相手会社の名称	株式会社エイトファーム																					
2. 合併の方法	当社を存続会社とする吸収合併方式、株式会社エイトファームは解散いたしました。																					
3. 合併後の会社の名称	株式会社ダイユーエイト																					
4. 合併に係る割当の内容	株式会社エイトファームは、当社の100%子会社であるため本合併による新株式の発行及び資本金の増加並びに合併交付金の支払いはありません。																					
5. 相手会社の主な事業内容及び規模	<table border="0"> <tr> <td>売上高</td> <td>58,931千円</td> <td>(平成25年2月期)</td> </tr> <tr> <td>当期純損失()</td> <td>10,940千円</td> <td>(平成25年2月期)</td> </tr> <tr> <td>資産の額</td> <td>129,393千円</td> <td>(平成25年2月20日現在)</td> </tr> <tr> <td>負債の額</td> <td>198,045千円</td> <td>(平成25年2月20日現在)</td> </tr> <tr> <td>純資産の額</td> <td>68,652千円</td> <td>(平成25年2月20日現在)</td> </tr> <tr> <td>資本金の額</td> <td>150,000千円</td> <td>(平成25年2月20日現在)</td> </tr> <tr> <td>事業の内容</td> <td colspan="2">ハーブ、花・苗事業</td> </tr> </table>	売上高	58,931千円	(平成25年2月期)	当期純損失()	10,940千円	(平成25年2月期)	資産の額	129,393千円	(平成25年2月20日現在)	負債の額	198,045千円	(平成25年2月20日現在)	純資産の額	68,652千円	(平成25年2月20日現在)	資本金の額	150,000千円	(平成25年2月20日現在)	事業の内容	ハーブ、花・苗事業	
売上高	58,931千円	(平成25年2月期)																				
当期純損失()	10,940千円	(平成25年2月期)																				
資産の額	129,393千円	(平成25年2月20日現在)																				
負債の額	198,045千円	(平成25年2月20日現在)																				
純資産の額	68,652千円	(平成25年2月20日現在)																				
資本金の額	150,000千円	(平成25年2月20日現在)																				
事業の内容	ハーブ、花・苗事業																					
6. 合併の効力発生日	平成25年6月21日																					
7. 会計処理の概要	「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成20年12月26日)及び「企業結合会計基準及び事業分離等会計基準に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第10号 平成20年12月26日)に基づき、共通支配下の取引として会計処理いたしました。																					

2 【その他】

該当事項はありません。

第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成25年7月3日

株式会社ダイユーエイト

取締役会 御中

新日本有限責任監査法人

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 鈴木和郎 印

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 富樫健一 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社ダイユーエイトの平成25年2月21日から平成26年2月20日までの連結会計年度の第1四半期連結会計期間(平成25年2月21日から平成25年5月20日まで)及び第1四半期連結累計期間(平成25年2月21日から平成25年5月20日まで)に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社ダイユーエイト及び連結子会社の平成25年5月20日現在の財政状態及び同日をもって終了する第1四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

- (注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。
2. 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。